



目次

目次	P1	詳細図(想定最大規模)	P11
ハザードマップについて	P1	全域図(浸水継続時間)	P47
洪水	P2	全域図(計画規模)	P49
土砂災害	P3	倉橋ため池ハザードマップ	P51
適切な避難行動	P4	地震災害	P53
5段階の警戒レベル	P6	揺れやすさマップ	P55
避難所一覧	P7	災害に備えて	P57
各種情報源と収集できる情報	P8	わが家の防災メモ	裏表紙
水害・土砂災害マップ	P9		



ハザードマップについて

ハザードマップの目的

「桜井市洪水・土砂災害ハザードマップ」は、本市にお住いの皆さんに想定される災害を**知って**いただき、いざというときに何をしなければいけないのかを**考え**、日ごろから災害に**備えて**いただくことが目的です。この冊子を活用して、災害時に適切な行動がとれるよう、事前に確認してください。

ハザードマップの使い方

1.自宅を見つけましょう



自宅の周りではどんな災害と被害が想定されているかを確認しましょう。

2.避難する場所を確認しましょう



自宅の最寄りの避難所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。

3.安全な避難経路を決めましょう



自宅から避難所までの避難経路を考えましょう。川・山の近くを通るルートは危険なので避けましょう。

4.実際に避難経路を歩いてみましょう



足元が悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上ではわからない危険が潜んでいるかもしれません。

5.家族で話し合みましょう



災害時の行動について家族と話し合い、マイタイムライン(裏表紙)に書き込んでみましょう。

6.学校や近所で考えましょう



学校や近所で災害について話し合うことも大切です。いざというときは周りの人と協力して避難しましょう。



洪水

※P11～P46の詳細図を確認してください。

洪水の主な原因は大雨や融雪などになります。大雨が降り続くと水害や土砂災害が発生します。大雨の原因となる気象現象や想定される状況について理解しておきましょう。

原因となる気象現象

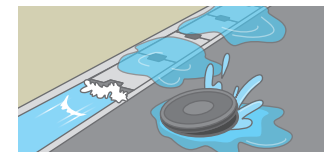
集中豪雨	局地的大雨	線状降水帯
梅雨前線の停滞や台風の接近などを原因として、狭い範囲に数時間に渡って降る大量の雨	急に強く降り、数10分の短時間に狭い範囲で数10mm程度の雨量をもたらす雨	連続して発生、発達した雨雲や積乱雲が、列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される強い降水域

雨の降り方と想定される状況

1時間雨量(mm)	10～20mm やや強い雨	20～30mm 強い雨	30～50mm 激しい雨	50～80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
状況	 長く続くときは注意が必要	 側溝や下水道などがあふれ、小規模のがけ崩れが起こりやすい	 山崩れや、がけ崩れが起きやすくなる	 マンホールから水が噴出したり、土石流が起こりやすい	 大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要

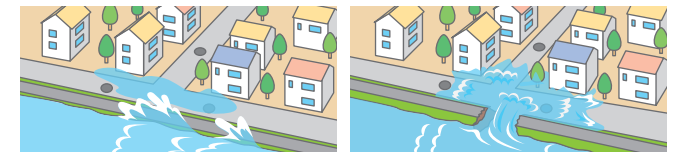
内水はん濫と洪水(外水はん濫)

内水はん濫



大雨により、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象です。

洪水(外水はん濫)



大雨によって河川の水量が増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊するなどにより水が流れ出す現象です。

大雨が降り続くと…

道路の冠水



エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下浸水・床上浸水



流れこんでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊



河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

浸水する深さの目安

浸水の深さ/状況	Flood Depth/Status	淹水高度/状況	浸水 깊이/상황
5.0m以上(2階の屋根以上が浸水)	Above 5.0m	5.0米以上	5.0m 이상
3.0m～5.0m未満(2階部分まで浸水)	Between 3.0m-5.0m	3.0米以上～5.0米以下	3.0m～5.0m 미만
0.5m～3.0m未満(1階部分まで浸水)	Between 0.5m-3.0m	0.5米以上～3.0米以下	0.5m～3.0m 미만
0.5m未満(床下浸水)	Below 0.5m	0.5米以下	0.5m 미만